

## ごあいさつ

春寒の候、皆さまにおかれましては益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成25年度の一般会計、特別会計及び企業会計等の予算を審議する3月定例会が終了致しました。無駄を省き、いかに市民の皆様にとって必要な事業かどうかという立場で議論に望んで参りました。又、今年度は監査委員を拝命し毎月のお金の流れなど監査をさせて頂いております。これからも初心忘れる事無く頑張らせて参ります。

早いもので2期目の当選をさせて頂いてから折り返しを迎えました。「同じ目線」をいつまでも大事に一生懸命一つ一つ取り組んで参ります。

今後ともご指導の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



八尾市議会議員 竹田 たかし

～平成25年度の重点取り組み～	《内容》	事業費 (単位:百万円)
①誰もが安全で安心して住み続けられる八尾	防犯灯整備推進事業/防犯カメラ整備推進事業/地域健康づくり支援事業 耐震化推進事業/消防体制充実・強化対策事業/診療体制の充実 等	19件 1,210
②子どもや若い世代の未来が広がる八尾	保育所整備計画推進事業/妊婦健康診査事業 やおっ子元気・やる気アップ提案事業/学力向上推進事業/学校園施設耐震化事業 等	14件 5,053
③まちの魅力を高め、発信する八尾	観光活動支援育成事業/図書館整備事業 等	4件 1,081
④職住近在のにぎわいのある八尾	無料職業紹介事業/玉申川等の桜再生事業 交通安全施設等整備事業/JR八尾駅周辺整備事業 等	8件 1,362
⑤環境を意識した暮らしやすい八尾	粗大ごみ戸別収集事業 水道施設耐震化事業 等	5件 393
⑥みんなでつくる八尾	公共施設マネジメント事業/地域拠点あり方検証事業/地域分権推進事業 市立コミュニティセンター機能更新事業/小学校区集会場整備事業 等	11件 995
合計		61件 10,094

～平成25年度 一般会計、特別会計及び企業会計の状況～	(単位:千円・%)			
	平成25年度 A	平成24年度 B	対前年度 増減額(A-B)	増減率
一般会計	104,585,287	97,288,838	7,296,449	7.5
特別会計	71,932,207	69,645,569	2,286,638	3.3
国民健康保険事業特別会計	33,952,643	32,988,560	966,083	2.9
公共下水道事業特別会計	13,472,172	13,691,811	▲219,639	▲1.6
財産区特別会計	3,283	4,393	▲1,110	▲25.3
介護保険事業特別会計	18,538,546	17,970,074	568,472	3.2
後期高齢者医療事業特別会計	5,341,863	4,992,731	349,132	7.0
土地取得事業特別会計	623,700	0	623,700	皆増
企業会計	20,554,295	19,765,885	788,410	4.0
病院事業会計	12,409,742	11,632,650	777,092	6.7
水道事業会計	8,144,553	8,133,235	11,318	0.1
全体合計	197,071,789	186,700,292	10,371,497	5.6

## 通学路に新しく信号機が設置されました

長年の懸案だった通学路への信号機の設置が完了し3月15日点灯式を行いました。信号機の間隔が長く途中で渡ると大変危険であり設置の要望を受けておりました。設置までに時間がかかり大変申し訳なく思っております。ひとつでも危険な所がなくなって行くよう今後も取り組んで参ります。



## イズミヤ八尾店・アリオ八尾店にも新たに証明書自動交付機が設置されました。

自動交付機を利用するには、事前に「やお市民カード」が必要です。自動交付機の利用を希望される方は、印鑑登録から「やお市民カード」を作成し、暗証番号登録が必要です。(平成10年10月以前に印鑑登録されている方は印鑑登録証が交付されています。印鑑登録証から「やお市民カード」への交換申請を行ってください。)

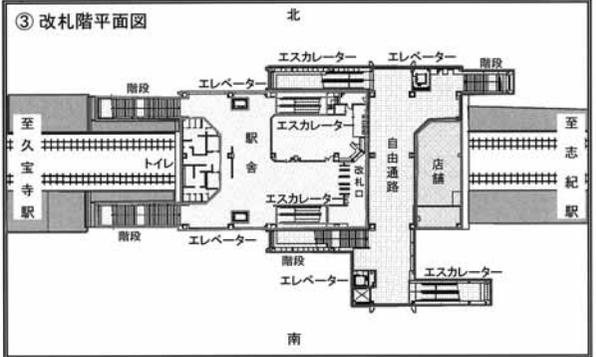
設置場所	市役所本館1階管理センター前	平日8:45～20:00 土曜・日曜・祝日・振替休日9:00～20:00		12/29 から1/3は 休止します
	山本コミュニティセンター1階			
	八尾市立病院1階エレベーター横	平日	9:00～20:00	
	アリオ八尾1階ATMコーナー	土曜・日曜	10:00～20:00	
	イズミヤ八尾店1階昇りエスカレーター付近	祝日・振替休日	9:00～20:00	
市役所本館1階市民ロビー内	平日8:45～17:15			

## JR八尾駅がきれいに変わります!

22年度より工事に入っておりますJR八尾駅の自由通路及び橋上駅舎工事が25年度で完成予定となりました。渋川踏切はすでに完成しておりますが6月ごろより自由通路工事に入り駅前広場など全工事26年度完成を目指し取り組んでおります。

### 「自由通路・駅舎の内観デザイン」

- ・吹き抜け空間を確保し、開放感を演出するとともに、上部壁面からの自然の採光や通風を活かした自然エネルギーによる快適な環境とします。
- ・明るい色調を基本に、将来にまで美しさが保たれるよう、メンテナンスや修繕が容易な汚れに強い材質等を採用します。
- ・行き先等の案内表示については、初めて利用される方にも、必要な情報が簡単に伝わるよう「わかりやすさ」に配慮します。

## 保健センターで「がんドック」が受診できます。

八尾市保健センターでがん検診が半日で一度に受けられる「がんドック」を今年度より実施します。健診項目は胃・肺・大腸・乳がんの4種です。日程は25年4/24・5/22・6/27・10/16・12/17、26年2/20で午前9時から11時。

**がん検診が無料に!!**

胃がん	満35歳以上	胃部X線撮影
肺がん	満40歳以上	胸部X線(必要な時は痰検査)
大腸がん	満40歳以上	便潜血検査(2日)
乳がん	昭和偶数年生まれの 満40歳以上の女性 (2年に1回の受診)	視触診・マンモグラフィー

\*定員は各100名(乳がんのみ70名)先着順で定員になり次第締め切ります。

# 平成25年3月定例会 会派代表質問

もっと詳しい定例会の内容を八尾市HPで映像配信しています。

八尾市議会映像配信<アドレス <http://www.kensakusystem.jp/yao-vod/index.html>>

## ◆市長の政治姿勢について◆

**質問** 市長は市政運営方針で、セーフティーネットの隙間が広がっていると指摘しているにもかかわらず、地域が埋め行政が支えるとしている。これは行政の本来の役割を投げ捨てることにならないか危惧する。セーフティーネットという失ってはならない行政の役割を地域にゆだねるような考え方は非常に問題がある。市政運営の柱としている「参画を呼びかける地域分権」「八尾スタイルの地域分権」の本質について市長の見解を求める。

**回答** 市民のライフスタイルの変化や少子高齢化、人口減少など、日本の社会構造が変化する中で希薄化する人と人との交流やつながりを行政の課題としてとらえ、持続可能な行政運営を行いながら、地域コミュニティの醸成を図ることこそが、本市が進める地域分権の本質であります。

## ◆行財政運営について◆

**質問** 行財政改革は行政の役割や基本的な考え方が問われるものであり、考え方を明らかにし市民に問いかける作業である。わがまち推進計画やまちづくり交付金によって行政が市民や地域を支援する取り組みを行っているが、市民や地域に負担や痛みをとまなうような改革の取り組みについてどのように働きかけるのか。

**回答** 持続可能な行政運営を維持し、質の高い公共サービスを提供していくためには、計画的な推進が必要であるとともに、市民負担が生じる取り組みについては、市民の協力、連携、理解を得ながら、説明責任を果たしていくことが重要であります。

## ◆防災について◆

**質問** 防災における地域の役割は大変重要であり、今回改定される地域防災計画は地域とともに歩む計画として災害に強いまちづくり、ひとづくりの2本の柱を位置づけている。共助という意味から重要な役割を担う地域住民について計画の中でどのように位置づけているのか。

**回答** 災害発生直後の初期消火や救助・救護をはじめ災害時要援護者の避難誘導、避難所の自主運営等の役割を担うとともに、平常時における地域の防災情報の共有や防災訓練等の実施について、位置づけを行っています。

## ◆防犯について◆

**質問** 実施計画では犯罪認知件数が上位にランクされないまちづくりを目指すとしているが市民の視点に立てば、どの地域でも安全であると肌で感じ、体感できることが重要であり、ハード・ソフト両面から全力を尽くすことが重要であるとするが、現在の防犯対策に対する市長の認識を伺いたい。

**回答** ハード面においては、市と地域による防犯カメラの設置をはじめ、地域における照度の高いLED防犯灯の普及促進など、防犯に配慮したまちづくりを推進する一方、ソフト面におきましても、市と地域による青色防犯パトロールの実施をはじめ、市民の防犯意識の高揚をはかります。

## ◆健康と福祉について◆

**質問** わが会派は健康都市宣言の早期実施を求めてきたが千葉県市川市は健康づくりだけでなく町づくりの基本に健康という概念を規定し、より進んだ取り組みを行っている。本市もいち早く行い、その理念を発信すべきと考えるが市長の答弁を求める。また、本市の特定健診受診率は府下33市中28位と非常に低く市長は来年度の特定健診の自己負担無料化を提案しているが加えて、休日や平日夜間診療などの環境面の整備も必要と考える。健康づくりのためにどのように取り組んで行くのか。

**回答** いち早く健康都市宣言を行い、スローガンをかかげて取り組んで行くことは、非常に啓発効果が高いものであると認識しております。特定健診とともがん検診についても無料化するとともに双方の健診を同時に受診することができるセット健診の取組みを進めます。さらに25年度からは各コミュニティセンターにおける保健師による定期的な健康相談を実施することにより地域での健康づくりの取組みを推進しさらなる疾病予防と健康増進に努めていきます。

## ◆子育て支援について◆

**質問** 山本地区と安中地区の幼保一体化施設の計画を明らかにしたが、幼保一体化施設のメリットを示されたい。これらの施設をリーディング施設と位置付けているがどのような施設なのか。24年度待機児童は173人となっており待機児童の解消に対する市長の決意は。

**回答** 幼保一体のメリットについては幼稚園・保育園の良さを活かしながら育ちと発達段階に応じた質の高い教育・保育を一体的に受けることが出来、少子化の進行の中で育ちに大切な集団、異年齢交流が体験できる事です。リーディング施設については、公立の就学前施設を幼保一体施設に移行することを基本とし既存の施設を活用した整備を先行的に行うものです。待機児童についても増加している状況にあり、平成25年度当初には160名の定員増を予定しています。25年度においては、民間保育所の創設を含め、定員180名の増加を予定し民間保育所と協議し、さらなる定員拡大をめざし、待機児童の解消に積極的に取り組んで行きたいと考えています。

## ◆産業と環境について◆

**質問** 24年度は高安千塚古墳群保存活用事業として国の史跡指定に向けた整備事業を行ってきたが、どのような成果を上げてきたか。また今後どのような事業を展開するのか。

**回答** 23年度に国史跡指定に向け「総括報告書」を作成し、今年度はそれに基づき、史跡の活用方策などの検討を行い、「基本構想」としてまとめる作業を進めています。今後は、国史跡指定に向け、土地所有者の方に対して指定について承諾していただく同意作業を進め、国に申請を行っていく予定です。

## ◆教育について◆

**質問** 学力向上のために取り組みが行われてきたが具体的にはどのような成果があったのか。また、市政運営方針で小学校高学年における教科担任制のモデル実施とあるが、どのような成果をもたらすと考えているのか。

**回答** 教科別では大阪府平均を小学校国語で1.2ポイント、算数で0.9ポイント、中学校国語で0.2ポイント下回り、中学校国語で0.2ポイント、数学で0.3ポイント上回る結果となっています。学習状況において、小・中学校とも読書への関心とともに新聞・ニュースへの関心の割合が高くなっています。教科担任制につきましては研究モデル校区の成果として、学習への興味・関心が増していると報告されており、25年度から予定している市費での教科担任推進員の活用とあわせることで、さらに小・中学校間における学習内容の円滑な接続とともに、教科ごとに多くの教員が関わることで、児童の持つ良さを引出し、学力向上につながると考えています。

## お知らせ 第5回後援会日帰り旅行を開催します!

昨年に続き、25年11月に「第5回竹田たかし後援会日帰り旅行」を開催させていただきます。詳細が決まり次第、チラシや『竹田たかしホームページ』( [takedatakashi.jp/](http://takedatakashi.jp/) )でお知らせさせていただきます。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。